

結核について正しく知ってみませんか？

9/24～9/30は結核・呼吸器感染症予防週間です

結核とはどんな病気？

結核は、結核菌という細菌によって炎症が起きる病気です。

菌をだしている結核患者の咳やくしゃみにのって菌が空気中に飛び散り、周囲の人が吸い込んで肺の奥深くに入り込むことで感染します。

結核は肺だけでなく、**骨**や**リンパ節**など全身のどこでも侵す可能性のある病気です。



国内にはどのくらい患者さんがいる？

死亡者数(概数)：1,474人(2025年)

新規登録者数：9,899人(2025年)

新規登録患者の約6割が60歳以上です。

2週間以上続いたら医療機関へ！



咳



微熱



だるさ

感染管理認定看護師からのアドバイス

木村病院
感染管理認定看護師 林幾代氏

感染しても、必ず発病するわけではありません！



感染と発病の違いって何？

感染とは、空気中に漂う結核菌を吸い込み体内に入ることです。

しかし、人の免疫力が強い場合は、症状はなく人に感染させることはありません。

(潜在性結核感染症(=感染しているが症状がない状態)：1-2割)

発病とは、結核菌が体内で増えだし、咳などの症状が現れることです。

感染して1-2年で発病する場合(初感染発病)と身体が弱った際に発病する(既感染発病：1割)があります。

結核を発病しやすい人

- ★糖尿病・腎不全のある人
- ★人工透析をしている人
- ★喫煙習慣がある人
- ★子供と高齢者
- ★ステロイドなどの免疫抑制剤を使用している人

結核に感染しないためには・・・

- ◆こまめな換気
- ◆咳エチケット
- ◆手洗い、手指消毒
- ◆ワクチン接種(BCG ワクチン)
- ◆健康的な生活で免疫力を強化

★適度な運動



★十分な睡眠



★バランスの良い食事



もっと詳しく知りたい方は、次の厚生労働省のHPをご覧ください。

結核と BCC ワクチンに関する Q&A

